

令和元年 9 月 19 日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

公開シンポジウム開催のお知らせ
「やまなしの山と自然に学ぶ～山梨大学が拓く山岳科学のフロンティア～」

山梨大学と静岡大学、信州大学及び筑波大学の4大学は、連携して日本初の山岳科学を学ぶことに特化した大学院修士課程を開設しています。

今回開催するシンポジウムでは、国内外で森林の再生や環境保全に携わってきたC.W.ニコル氏を講師に招き講演いただくほか、本学を中心とした4大学の連携による教育研究成果などをご紹介します。

つきましては、本シンポジウムを下記のとおり開催いたしますので、多くの方に参加いただくためイベント情報欄等でご紹介いただくとともに、当日取材をしていただきたくご案内いたします。

記

【日 時】令和元年 10 月 22 日（火・祝）13:00～17:00（12:00 開場）

【会 場】山梨県立図書館 1 階 イベントスペース（甲府市北口 2-8-1）

【内 容】

■第 1 部 講演

- ・「心に木を植える」C.W.ニコル氏（一般財団法人 C.W.ニコル・アフアの森財団理事長）
- ・「山の恵みの経済的価値を測る」渡邊幹彦 本学生命環境学部教授

■第 2 部 研究事例紹介等

- ・「山を守る人材の育成：山梨大学の取り組み」宮崎淳一 本学教育学部教授
- ・「森にしのびよる大気汚染物質とその影響」松本潔 本学生命環境学部准教授
- ・「千畳敷でさぐる地球環境の変化」石井雄太 本学大学院生
- ・「歴史の長い草原の価値：希少植物・蝶類の視点から」井上太貴 筑波大学大学院生

【参加費】無料

【定 員】300 名

【申込み方法】

下記問合せ先まで電子メールにて、参加者全員の氏名とフリガナ、代表者の E メールアドレスを記載の上、お申込みください。（先着順、定員に達し次第募集を締め切ります）

※詳細は、別添ご案内チラシをご覧ください。

（お問い合わせ先）
〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37
山梨大学山岳科学特別教育プログラム
公開シンポジウム担当
E-mail : sangaku2019@yamanashi.ac.jp
TEL : 055-220-8339、055-220-8149

やまなしの山と自然に学ぶ ～山梨大学が拓く山岳科学のフロンティア～

山梨県は、県土の78%を森が覆い、四方を名峰が取り囲む国内有数の山岳県です。本シンポジウムでは、国内外で森林の再生や環境保全に取り組んでこられたC.W.ニコル氏をお招きし、身近な山や森の自然に学び、活かし、未来の子供たちに持続可能な形で引き継いでいくことの意義を学びます。また、山梨大学、静岡大学、信州大学および筑波大学が連携して実施している山岳科学に関する教育研究の成果を紹介し、山梨が誇る自然の価値や現状、そして、この自然と今後どのように付き合っていくべきかについて、市民の皆様と一緒に考えます。

【日時】 2019年 10月22日 (火) 13:00～17:00
(開場12:00)

【会場】 山梨県立図書館1階イベントスペース

【定員】 300名、申込先着順
(申込方法は裏面記載)

第一部 講演 13:15～
第二部 研究事例 14:55～
紹介など
ポスター発表など 16:15～

参加
無料

－第一部 講師－



C.W.ニコル氏
(基調講演)

作家・1940年イギリス南
ウェールズ生まれ。1995年
日本国籍取得。

カナダ水産調査局北極生物研究所
の技官、環境局環境問題緊急対策
官やエチオピアのシミエン山岳国立
公園の公園長など世界各地で環境
保護活動を行い、1980年から長野
県在住。1984年から荒れ果てた里
山を購入し「アファンの森」と名づけ、
森の再生活動を始める。2005年、
その活動が認められエリザベス女王
から名誉大英勲章を賜る。2011年、

「アファンの森」が日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」に登
録される。2016年、(社)国土緑化推進機構より「第6回みどりの文化賞」
受賞。2016年、天皇、皇后両陛下がアファンの森をご視察された。

渡邊幹彦

山梨大学生命環境学部 教授

専門分野: 開発経済学・環境経済学
主な研究テーマ: 地域の自然資源を
有効利用した望ましい経済発展



主催: 山梨大学山岳科学特別教育プログラム

<http://www.ccn.yamanashi.ac.jp/~sangaku/HP/index.html>

共催: 筑波大学山岳科学学位プログラム・信州大学山岳科学教育プログラム・静岡大学山岳科学教育プログラム

